



2023-2024年度
RI会長
ゴードン R. マッキナリー
RIテーマ
CREATE HOPE in the WORLD

国際ロータリー第 2830 地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 築館 智大 会長 ● 小林 弘文 幹事 ● 平野 薫 SAA ● 久保 隆明

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内
TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<https://8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30 開会



6月 ロータリー親睦活動月間

vol.38

第 2570 回例会 2024.6.4

12:30 ~ 八戸プラザホテル

司会：吉田美登紀副SAA

RIテーマ

点鐘

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング
- ・四つのテスト

誕生日祝い



石橋十四男会員

記念日



吉田 悦子会員



吉田美登紀会員



平野 薫会員



横町 芳隆会員

会長要件

千葉哲也会長エレクト



先日は、会長エレクトを励ます会を企画・開催していただきまして本当にありがとうございました。皆様から多くの励ましをいただきまして、次年度改めて頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

また、二次会はKA-LU-LAというお店へ連れて行っていただきまして、とても面白いお店でございました。私はどちらかというと夜は行きつけのお店にしか行かないタイプでして新規開拓には非常に勇気が必要でしたが、今回本当にいい経験をさせてもらったと感じております。このような内弁慶な人間ですので、この経験を通して改めて知らない世界に飛び込むというのは必要なことだと思いました。これからも是非みなさんのこれまでの知識・経験を沢山教わりながらやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、今日は何の日ということで6月4日は朝鮮生まれ（日本統治時代）の武道家である大山倍達さんの誕生日です。1947年に全日本空手道選手権大会で優勝後、米国で演武の指導を行ったそうです。伝統的な空手とは異なり相手を直接攻撃する「極真空手」の創始者でもあるということでございます。



もう一つ、仕事のキモということで、「ダブルケアラー」という言葉を皆さんご存知でしょうか？子どもの育児と親の介護を同時に担うことを「ダブルケアラー」というようでございます。出産年齢の高齢化などにより、乳幼児の子育てと親の介護が重なるダブルケアの推定人口は2016年時点で25万3000人と推計されており、今後ますます増加することが予想されるということです。自治体・団体によってダブルケア当事者、支援者が集うダブルケアカフェの開催、ダブルケア経験者が「ダブルケアラー」の相談に乗り必要な情報を提供するといったサポーターの要請派遣なども行っているということでございます。

それではみなさん「ダブルケアラー」という言葉の一つ学んだということで、今日の会長要件としたと思います。ありがとうございました。

幹事報告

平野 薫幹事



◎地区研修協議会出席者へお礼のメールが来ております。

親睦委員会

吉田悦子会員

ニコニコBOX

平野 薫幹事：お祝ありがとうございます。
石橋十四男会員：誕生日祝いありがとうございます。
横町芳隆会員：結婚40周年を迎えます。お蔭様であれから40年。
吉田悦子会員：記念品ありがとうございます。
田村隆直会員：お久しぶりです。
吉田美登紀会員：記念品ありがとうございます。
米山記念奨学金
奥井義則会員：
大沼 衛会員：

出席報告

本日の出席率 61.1%
前々回（5 / 21）の修正出席率 51.3%

次年度準備

千葉哲也会長エレクト

現在、活動計画書を委員長・リーダーの方をお願いしておりまして、その中で委員会の目標を定めてぜひ計画書へ記入していただきたいとお伝えしています。今まで計画書・報告書を提出する際に毎回何をやるのか、やったのかという内容に関して悩んで

おりました。そんな折に、PETSに参加して「ロータリークラブ・セントラル」の存在を知りまして、その中には目標値をおいて達成することを活動の中で目指してくださいとありました。これまでは誰がそれらを行うかという部分において理解が不足していましたが、先ほどの活動計画書と結びつきまして今年度計画書の中に目標値を記入していただきたいと思った次第でございます。ただ、活動計画の内容に関してはこれまでと同じ内容で特段の問題はありません。目標値を入れることで、委員会の目標・目的が明確になり振り返りをする際により活動を記入しやすくなるのではないかという思いでそのようにお願いしました。

実は私は今年度職業奉仕委員会のメンバーでして、昨年度までは職業奉仕委員会としての役割、「四つのテストの唱和」を行う目的を強く認識しておりませんでした。そういうことで所属する委員会の役割を今一度認識するためにも、委員長の方にはそれらを踏まえて活動計画を書いていただければと思います。

もう一点、活動プログラムを作成した際に千葉先生から委員会の方へ了解を得たのかというご指摘がありました。今回、会長幹事と打ち合わせをして活動プログラムを決定しましたが、本来であれば各委員会にとって年間の活動計画を組むことが期待役割ですので日程や内容の割り振りに関しても委員会ごとに決定することが本筋なのではないかと思えます。そのようなことを踏まえ組織としてこのロータリー活動を推進していきたいと思っております。決して形式ばって難しい運営をしようと思っていないわけではありません。今まで通り楽しく、その上でそれぞれの委員会が役割を持ってきちんと運営していけるように目指していきたいと思えます。改めて皆様よろしくお祈りします。

知床会

吉田悦子会員

今週の軽米カントリークラブ、全組キャディー付になりました。

点鐘